

Pastor JD Farag 預言アップデート

聖書預言から今の時を理解する 2019.12.15

<https://www.youtube.com/watch?v=dEc2xsrEy8A>

さて、預言アップデートにとりかかりましょう。ところで、私たちのオンライン教会の方々にお知らせです。次の日曜日22日は、預言アップデートをお休みして、クリスマス礼拝をします。楽しみですね。

ですから預言アップデートは29日から再開します。さて、今日のアップデートに向けて、私はどの方向に進んだら良いかと主にお伺いを立てた後、私は御霊に感じて、現在および今後の選挙の預言的意義についてお話しすべきだと思いました。具体的にはごく最近では英国の選挙です。これには多くの皆さんが注目してこられたと思います。それから、イスラエルで可能性の高まってきた前代未聞の3度目の選挙、また、ここ米国でのトランプ大統領弾劾への奮闘に鑑みて、私たちが2020年にまだここにいるなら、とても興味深い年になりそうです。あと数日で2020年。まずは、すごい速報ニュースから始めましょう。英国のボリス・ジョンソンの、この地滑りの勝利はBrexitを事実上、再び交渉の場に戻しました。アル・アラビヤは発表した記事の中で、ボリス・ジョンソン首相の発言を引用しました。『我々はBrexitを1月31日の期限までにやり遂げる。【もし】も、【でも】も、【たぶん】もない。』

さて、Brexitとは何か知らない人のために言いますと、それは欧州連合からの英国の撤退のことで、英国が圧倒的多数で投票したものです。そしてこの選挙まで、Brexitが起こるかどうかは未決定でした。

そのことを心に留めておいてください。後でまたこの話に戻ってきます。英国の選挙結果は非常に重要ですが、現在、イスラエルで予期される3回目の選挙の決定的な重要性によって、影が薄くなっています。ハアレツによると、「イスラエルは一年で、3回目の選挙に向かっている。前代未聞です。水曜日、ベンジャミン・ネタニヤフ首相とライバルのベニー・ガantzが連立政権を樹立できなかったことを受けて、クネセットが解散した後、彼らは努力してきたが、実現していない。そしてそれは実現しそうにない。ギリギリで驚きの合意がなければ、彼らは3月に投票所に戻る。」

木曜日のタイムズ・オブ・イスラエルは、リヴリン大統領がイスラエル国民を安心させようとしたことに関する記事を発表しました。

「イスラエル国民は、政治指導者が政権を樹立させることに2回連続して失敗するところを見たばかりだ。そして今や、11ヶ月で3回目の選挙に突入しようとしている。イスラエルには一年の大半の間、きちんと機能する政府がなかった。リヴリンはこう述べたと言われている。『2度の選挙の後、3回目の選挙運動が始まると、』」ちなみに、補足的に言いますが、今朝の私のニュースフィードで見たことですが、イスラエルで選挙が3回行われるということは、まず第一に、非常にお金がかかることを理解しなければなりません。ある報告によると、今度、3回目となる選挙に現在使われているお金で、イスラエルに7軒の病院を建てられたらという報告もあります。その規模が分かるように比べてみました。

それでリヴリンはこう述べたとあります。『私はこれはまた、指導者を選ぶイスラエル国民にとって、決定的な瞬間だということを信じている』」彼らはもう既に2回もやっています。

「『イスラエルの民主主義は今も昔も誇りの源であり、民主主義制度には代償がつきものであることを知っている』彼は付け加えて、(引用)『私の祈りは、現在の政治危機の深さと、それがさらけ出す私たちの間にある分裂が、私たちを、社会として、そして国として、互いに意見を異にするための権利のためだけでなく、私たちが同意できるものを見つける義務のためにも戦うよう、導くことです。』」あ〜。それは米国の現状と政治的環境についても同じことが言えますね。そうでしょうか？私に言わせれば、これは物事の核心を突いていることです。国家の民主主義が危機に瀕しているという意味で。お付き合いください。民主主義が確かでなくなったときに、続いて起こることは、まさにこんにち皆さんが見ているものです。私たちがここアメリカで見ているものです。11月1日に遡りましょう。ブライトバートは、ドナルド・トランプの発言を引用しました。

『急進的な民主党による弾劾投票は、民主主義そのものへの攻撃である。』そこが要点です。「大統領による

と、『民主党は、6300万人の アメリカ人の票を無効にし、下院に恥をかかせる可能性のある投票をした。』皆さんが弾劾の公聴会を見たかどうかは分かりませんが、私は「ちょっとだけ見た」と白状しなければなりません。ハイ、実は、ちょっと以上見ました。少なくとも、もう我慢できなくなるまで。もう消音スイッチを押さなければなりませんでした。私は、「一体何なんだ？」と考えました。このことの本質は何だろう？そして今朝ちょうど、私は、民主党員が下院でのこの弾劾の茶番劇に強く反対して、共和黨員になろうという話を聞くことになりました。つまり、とにかく、...あ〜。挑発しないでくださいよ。挑発されなくても、自分から言い出しかねませんけど。つまり、ただ...あ〜、え〜と、はい、次に行きましょう。それがいいですね。私は、Brexitに関する国民の投票を無効にしようとするこれと同じ試みは、英国での選挙結果によって証明されたように、こんにちも健在であると考えています。私は、英国で起こったすごい選挙結果の重要性は、誇張してもし過ぎることはないと思います。危険にさらされているもののためにです。ちなみに、1月31日の締め切りとは、2016年に投票された締め切りです。それは2017年に正式に承認されました。さあ、いよいよ、それは2020年1月31日になります。やっとです。人々は意思表示したのです。「私たちは、EUから脱出したい」と。我々は「俺はやるよ！」という男に投票するのだ。「つべこべ言わずに、やると言ったらやるんだ！」なんだか、ちょっと、アメリカ大統領みたいですね？ でしょう？

タイムズ・オブ・イスラエルの報道です。「トランプ大統領は金曜日、ジョンソン首相を祝福した後、英国の選挙結果について次のように述べた。『それは我々の国に来るべきものの前触れかもしれない。それは我が国と同じシナリオだ』ドナルド・トランプ米国大統領は、来年のアメリカの選挙での再現に意欲的である。」「そして...」聞いてください。「民主党はそれを避けようと必死だ。」おや、かなり控えめな言い方じゃありませんか？「彼らは、そういう選挙結果を避けるのにあまりにも必死であるために、今、トランプを弾劾して、再選させるリスクを冒さないようにしたい、と自分たちで認めています。」ちなみに、来たる2020年11月、ものすごく先のことですけれども、私たちはいつも「主のみこころなら」と言うべきです。ヤコブの手紙には、こう言っている人たちは気をつけるようにと書いてあります。

「『これこれの町に行き、...商売をしてもうけよう』と言っている者たち、[\(ヤコブ4章13節参照\)](#)

あなたがたはいつも、『主のみこころであれば』と言うべきだ」と。[\(ヤコブ4章15節参照\)](#)

主のみこころならば、選挙があります。2020年11月に。主のみこころであれば、主のみこころであれば、主のみこころであれば...

だから、彼らは少しも危険を冒したくないんです。彼らはあなたと私が見ているのと同じ選挙集会を見ています。文字通り何千人もの人々が、巨大なスタジアムの外で中に入ろうとして待っています。そのスタジアムは、今や仕事を持つ人たちでいっぱいです。今はうまくいっていて、米国大統領に満足しています。それでも、彼らはトランプを弾劾したいのです。フォックスニュースの報道です。

ナドラー民主党下院司法委員会の委員長の発言を引用しています。——ちなみに私はそれを見ていましたが彼は本当に疲れていたように見えました。彼は何度か居眠りをしていました。彼は小槌を打つのに、肘で突つかねなければなりませんでした。それで私は思ったのですが、この人はお昼寝が何かしなくちゃならないな、何をやってんだ？と。話がそれました。ごめんなさい。しかし、彼は「トランプを取り除くのに、2020年の選挙まで待つのは、安全ではないだろう」と言いました。あら、本当ですか？彼はトランプが再選されることを知っているからです！だからあなたがたは今すぐトランプを弾劾したいんです！2ヶ月前、私はある報道を見ました。それはある調査結果だったのですが、トランプが弾劾されるかもしれないと思ったアメリカ人の大多数が、トランプが再選されるだろうと思っているというものです。言い換えれば、「どうぞ、弾劾して！どうぞ、どうぞ！私たちはどうせ彼を再選するから。どんなもんだい！」「私たちはあの人が結構好きなんだ。株式市場は好調だし、私には仕事がある。」

雇用数は... ちょっと皮肉的だったんですけど... 私はこれに触れなくなかったんですけど、もう遅かりし、言ってしまうました。そういうわけで、皆さん聞かされてます。しかし、今、私たちは弾劾公聴会の真っ最中で、

そこに、いつものように、労働者統計が発表されます。何でしたかね？25万人の雇用が追加されたのではなかったのですか？「彼を弾劾しろ！」なぜ！？どうして！？どうなっているんでしょうか？ここで本当に起こっていることは何でしょうか？なぜなら、明らかにこれは合致しませんから。皆さんが私のように考えるとしたら、そしておそらくそうだと思いますが、これを調整することはできません。これはうまくいきません。帳尻が合いません。何か他のことが、ここで起こっているに違いありません。お～、そうなんですよ。つまり、英国に行って、あちらで彼らが何と言っているかを聞いて、ここアメリカに戻って来て、私たちの言っていることを聞きます。それから、皆さんはそれと、起こっていることのすべてを一致させようとしています。

それから、イスラエルはどうですか？ネタニヤフはおそらく、イスラエル史上最強の指導者の一人だと言えますよ。それから、なんと！ネタニヤフとトランプは名コンビだと思いませんか？彼らは、グローバリズムにとって恐るべき脅威です。グローバリズム、それが問題です。

お～、ところで、黙示録で語られているのは、グローバリズムが起こるということではないですか？

それは地球規模で起こり、世界統一政府、世界統一宗教、世界統一経済、新しい世界秩序（NWO）。世界的に。「ナショナリズム（国家主義）は忘れて下さい。グローバリズム（世界主義）です。」ここで起こっているのはそういうことです。繰り返しになりますが、私がもう一度このことを言わなければ、ひどい職務怠慢になると思います。私がこれを繰り返すことに、ウンザリしてほしくないのですが、

**私たちの格闘は血肉に対するものではありません。（エペソ6:12参照）**

共和党対民主党ではないし、右翼対左翼でもないし、保守対リベラルでもありません。

私たちの戦いは、パウロがエペソ人への手紙6章で説明し、描写しているように、4つの実体に対するものです。「主権、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊」彼らには色々なランクがあります。それにまあ、彼らは良い仕事をしています。彼らは次の授賞式でいくつかの賞を獲得するでしょう。なぜなら、彼らは世界に自分たちの戦いを互いに対して戦わせるのに成功したからです。私は、このいわゆる分極化について、ある人たちが「私たちがこの国でこれまで見たことがないようなものである」と言うのを耳にしました。一体どうして？...それで私はツイッターを見ました。おそらく、見るべきではなかったと思います。私はそろそろ学習してもよいはずだと思うんですが... ツイッターを見ると、何がトレンドしているかが分かります。何がとても興味深いかと言うと、弾劾の期間中、弾劾はトレンドに上がっていませんでした。英国の選挙がトレンドでした。私は実際に「弾劾」を検索しなければなりません。2つのハッシュタグがトレンドになっていて、一つは、「#弾劾」、もう一つは「#弾劾デマ」でした。それで、自虐的な私は、まず「#弾劾」を見ることにしました。ただ下にスクロールしながら、いくつかのツイートを見ました。悲しくなりました。そして私は聖霊を悲しませてしまったと思います。それで、私はよし、次は「#弾劾デマ」を見よう、と決めました。少しは気分が晴れるだろう、と。そうじゃなかった。実際には、ある意味、もっと嫌な気持ちになりました。その敵意や辛辣な言葉と言ったら... 攻撃の応酬。聞いてください。もうこれ以上それを続けていながら、その報いを受けないわけにはいきませんよ。私は使徒パウロがガラテヤの人々に書いたことを思い出しました。

## ガラテヤ5章15節

**互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。**

何も残りません。その通りです。それが、ここで起こっていることです。分割と征服です。それは、内部からの破壊です。「団結すれば立ち分裂すれば倒れる」からです。

イエスは「どんな家でも分裂して争えば立ち行きません」と言われました。（マタイ12:25参照）

それが起こっているのが分かりませんか！暗闇の力はこの分極化、分裂をもたらすことに成功しました。それはこの国をバラバラに引き裂いています。それはこの世界をバラバラに引き裂いています。右派對左派、黒人対白人。先週私はこのことを考えていて、ここまで言うつもりはなかったんですけど、またまた遅かりしで

す。だから、言ってしまいますよ。私はレイシズム（人種差別）について考えていました。皆さんがこれをご存知かどうか知りませんが、私が最初に開拓した教会はアイダホ州コーダレーンにありました。そこは白人アリア民族軍の中心地、メッカでした。神はユーモアのセンスをお持ちで、アイダホ州ハイデンに教会を開拓するために、親イスラエルのアラブ人牧師を召されました。

それは白人至上主義陣営の目と鼻の先にありました。そして私は、生き残ってそのお話をしています... 私たちの教会にはある一人の男性がいましたが、彼はあんまり長くはいませんでした。私たちは急いで彼を追い出しました。彼は、白人至上主義に関する資料を宣伝していました。ちなみに、当時の国勢調査では... これは1999年のことです。昔々です。言っておきますが、計算しないでくださいよ。教会を開拓した時、私は5歳だったんですから。当時、その地域の人口調査では、98%が白人、アングロサクソンの白人でした。私は教会で唯一のアラブ人でした。もちろん、この教会でも、私は唯一のアラブ人です(笑)それで、とにかく...脱線しましたね。でも、私はちょうどこのことを考えていました。私が心の中で思うに、レイシズムはいまだに健在です。今日の教会で。ご存知でしたか?ハワイでは、感謝なことに... そしてこれは神様が私をここに呼ばれた理由の一つかも知れません。というのは、国家的、人種的に もう少し寛容だからです。ここには、さまざまな人種や、民族グループと国籍の人たちがいて、それが祝われています。でも、人種差別はなおも健在です。そして、皆さん、それがどこから来ているのか分かりませんか? 敵がそれを掻き立てているのです。彼は、互いに戦わせているのです。

私たちは基本的に、敵のためにその仕事をしてやっています。彼は日なが一日ビーチでバカンスを楽しめますよ。それがここで起こっていることです。そして、それはすべてご計画の一部です。

ところで、すべてのことが神の預言的な計画に従って、完璧に進んでいることをお知らせして、皆さんを励ましたいと思います。すべては時間通りです。絶望しないでください。私がここに立つ時、時々、叫んだり、皆さんに唾を飛ばしたりしているのは自覚しています。しかし、私は動揺しているわけではありません。「どうしてこんなことが起こるのか?」いいえ、私はこうなることを望んでいます。

「何だって?」 そうです。こうなって欲しいんです。「なぜ?」なぜって、イエス様が言われたからです。「これらのことは必ず起こる」「これらのことは起こらなければならない」「終わりが来るために。」なぜなら、これはまさに「起こる」と私たちに告げられていることだからです。そして、それが起こっています。もうしばらくお付き合いください。締めくくりにもっていきますから。

私は、これが深い預言的な意味を持っていると私が信じている理由を説明したいと思います。

第一には、ここ数週間お話ししていることですが、私は、このすべてが完璧な嵐をつくり出しているように見えますと言わせてもらいましょう。反キリストを迎え入れるための。全世界が、畏敬の念を抱き、カリスマ的な指導者として礼拝する者として。それについてはお話ししました。しかし、ここに別の理由があります。スクリーンをご覧ください。それはこの非常に特殊な預言と関係があります。

エゼキエル第38章13節の預言。エゼキエル第38章の預言の全体は、非常に詳細で非常に具体的です。しかし特に13節、殊にボリス・ジョンソンの地滑りの勝利に照らして。繰り返しますが、このことの重要性は誇張しても、誇張し過ぎることはないかと思います。このことの意義です。よろしければ、エゼキエル38章13節をお読みしたいと思います。それから解説します。お聞きください。

### エゼキエル38章13節

**シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。...**

誰にそう言うんでしょう? ロシア、イラン、トルコ、そしてこんにち、北部で用意のできている 国家連合隊です。まさにエゼキエル第38章で、彼らがイスラエルに侵攻するときのこととして、述べられている通りです。ですから、彼ら、「シェバやデダンやタルシシュの商人たち、およびそのすべての若い獅子たちは、おまえに言うだろう。」

『おまえは分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために隊を構えたのか。銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするつもりか。』と。」

さあ、ここでちょっと止まりましょう。これは、この侵略の時点で、イスラエルが銀や金を持ち、繁栄していることを前提としています。何か奪うべきもの、略奪するべきものを。こんにちのイスラエルには、それがありますか？確かにそうですね！疑う余地はありません。天然ガスと石油に加えて、金（ゴールド）があります。彼らはそれを知っており、それを欲しがります。それが「鉤」となります。

私は、それが「あごの鉤」だと信じています。神は言われます。

「ゴグよ、おまえのあごに鉤をかけ、北のシリアから出陣させる。わたしの民に侵入するために。」（エゼキエル38章4～8節参照）

それは彼らが安全で、強く、繁栄しているときに来るのです。こんにちのイスラエルは安全で、強く、そして非常に繁栄しています。さて、この一節の詳細は、シェバとデダン、そしてタルシシュ、それが誰であれ、タルシシュの若い獅子たちがこれに抗議するということです。これは重要です。それらは誰のことでしょうか？まあ、私たちは確実に、シェバとデダンがサウジアラビアであると知っています。

こんにちイスラエルととても良好な関係を持つ国です。誰ぞ知る？え～、神はご存知でした。神はそのことについて私たちに約2,500年以上も前に、この時にはこうなると語られていたのです。

ではタルシシュとその若い獅子たちとは誰なのでしょう？ここが少しあてずっぽうになるところです。

しかし、英国で起こったことに照らしてみると、少なくともそれについて言及する価値はあると思います。それはつまり、それが英国と米国に他ならない、ということです。そうなるのは、こういうわけです。英国のシンボルは獅子であり、米国はその獅子、すなわち英国から出た「若い国」です。ですから、憶測され、提案され、考えられるのは、これが、サウジアラビアと、米国と英国で、彼らはこの侵略に参加しないだけでなく、この侵略に対して、抗議します。

しかし、おそらくもっと重要なのは、米国...これが本当に一部の人が信じているように、確かに米国のことであるならば、私はそのことについては、独断的ではありません。可能性はあることです。

しかし、それは米国に何かが起こらなければならないことを、示唆することになります。彼ら（私たち）が、これについて何もしないためには。抗議をする以外は。まあ、この親イスラエルの...最も親イスラエルの大統領に何が起こったのでしょうか？私たちには、分かりません。彼が弾劾されるからですか？分かりません。イスラエルの強力なリーダー、ベンジャミン・ネタニヤフはどうなるのでしょうか？彼はこの最中にどこにいるのでしょうか？分かりません。

英国は、1月31日以降、欧州連合から離脱します。だから、多分それで説明がつくのかも...

これがいかにうまくはまり込むか、分かりますか？これが仮説によるシナリオだということは分かっていますが、私は、それはもっともらしいシナリオだと思います。それは私たちのまさに目の前で、リアルタイムで、猛スピードで、起こっています。すべてのことが、終わりの時にはそうなると言われた方向に動いています。伝道者の書の一節で締めくくりたいと思います。それは、私が考えていたのを主が思い出させてくださったものです。9章11節。ソロモンが書いています。

### 伝道者の書9章11節

私は再び、日の下を見た。競走は足の速い人のものではなく、戦いは勇士のものではない。パンは知恵のある人のものではなく、富は悟りのある人のものではなく、愛顧は知識のある人のものではない。（しかし、）すべての人が時と機会に出会うからだ。12節です。しかも、人は自分の時を知らない。悪い網にかかった魚のように、罠にかかった鳥のように、人の子らも、わざわいの時が突然彼らを襲うと罠にかかる。

世界は今のこの時、偶然によらず、わざわいの時に捕らわれて、それが突然私たちに襲っている、と言わせて

もらいましょうか。戦いは強い方が勝つとは限りません。トランプは強いです。競走は必ずしも足の速い人が勝つとは限りません。日の下で、この墮落した世界では、必ずしもそんなふうには行きません。確実なことは何もありません。おそらく、今は、他の時に劣らず、伝道者の書7章14節も含めるのに良い機会でしょう。なお、非常に重要な一節です。基本的にこう述べています。

順境の日には、楽しみなさい。神があなたを繁栄させているんですよ。物事がうまく行っています。楽しみなさい。それが続く間は。そうは言っていないですが、まるで... 「楽しみなさい。なぜなら、逆境の日には...」

「もしも」だったらいいのにとおもいます。逆境の日には、立ち止まってよく考えなさい。

そして、神がこれもそれも許しておられることを理解しなさい。だれにも将来のことに、はっきりと確信が持てないように。神は一つのことを別のことと合わされます。競走は足の速い人のものではなく、戦いは必ずしも強い人のものではない。逆境があり、順境があります。問題の最終的な結論は神が支配しておられることです。私たちではありません。確実なことはなく、保証もありません。私たちには分からないのです。ここで、私たちは突然襲いかかってくるわざわいの時にかかっています。

私は、それが私たちがこんにちいる時代だと確信しています。

私はマタイ24章でイエスが言われたことを考えます。

#### マタイ24:44

**人の子（キリストご自身の呼称）は思いがけない時に来るのです。**

思いがけない。予期しない。これが、私たちが毎週、預言アップデートをする理由です。それが、イエス・キリストの福音で終わる理由です。それが、救いのABCで救いの説明をして締めくくる理由です。なぜなら、どこにも保証がないからです。私たちには分からないのです。人は自分の将来について何も分からないのです。やはり、ヤコブの手紙に戻ります。

**「よく聞きなさい。...あなたがたのいのちは...霧です。」（ヤコブの手紙4章14節）**

今日は良くても、明日には消えてしまうかも知れない。明日の保証などないのです。「あなたがたはむしろ、『主のみこころなら、明日』と言うべきです。（ヤコブの手紙4章15節）なぜなら、皆さんには分からないからです。ここまでもかも知れない。皆さんはそれを予期していません。どういう言い回しでしたっけ？あなたが一番予期していない時に？予期する？ふーん。間違っていないといいけど。

福音とは何ですか？福音とは良き知らせです。あなたの負債は完済されました。あなたは釈放されます。イエス・キリストが来られて、十字架につけられ、罪の負債をその十字架の上で全額支払ってくださった。墓に葬られ、三日目によみがえられた。そして、さらに良いことには、主はまたいつか、戻って来られる。すぐにです。ものすごく、すぐ。これが良き知らせ。さて、この良き知らせ、福音に対して、私たちがすべき反応は何か？さあ、そこで救いのABCの出番です。

初めに、A。神に反逆して、罪を犯したことを認める（Admit）または認識する（Acknowledge）

私には、罪の赦しのために、救い主が必要です。

ローマ人への手紙3章10節には、「**義人はいない。一人もない**」と書かれています。

皆さんは良い人かも知れませんが、それだけでは決して十分ではありません。ローマ人への手紙3章23節にその理由があります。

**「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができ」**ないからです。私たちは皆、罪を犯しました。的を外して、神の栄光を受けることができなくなりました。さあ、罰です。死刑判決です。

ローマ人への手紙6章23節が語る罰とは、

**「罪の報酬は死です。しかし（ここに良い知らせがあります！）神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」**

それが良き知らせです。それは私たちに与えられる贈り物で、主によって支払われました。クリスマスには、

贈り物をもらえます。みなさんがその贈り物の代金を支払ったら、それはもはや贈り物ではありませんね？誰かがその贈り物の代金を支払わなければなりませんでした。

永遠のいのちの賜物は、イエス・キリストがすべて支払ってくださり、私たちに与えられたのです。

次に、B。あなたの心で、イエス・キリストは主であり、神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じる (Believe)

#### ローマ人への手紙10章9節 10節

**「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」**間違いありません。終わったのです。陪審員はもう、審議していません。評決は下されました。あなたは救われず。あなたは「有罪確定」でした。死刑判決を受けました。それが罪の報酬だからです。

しかし、良き知らせはイエス・キリストが死をもって、あなたが支払うべき罰を引き受けてくださったのです。

最後に、C。「主の御名を呼び求める (Call)」

あるいは**ローマ人への手紙10章9節10節**では、口で告白する (Confess)

**「もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」**

ここにその理由があります。

**「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」**

最後に**ローマ人への手紙10章13節**。取引成立です。 **「主の御名を呼び求める者はみな救われる」**

ご起立ください。礼拝チームが壇上に上がります。お祈りして終わります。いつものように賛美を歌って終わります。最後に言わせてください。2020年は、私たちが預言アップデートを始めてから14年目になります。毎週アップデートをやってきました。2020年で14年間です。「主のみこころならば」と言うべきでしょう。ね？このお話をするのは、私が預言アップデートを続けるのは、そう長いことではないと本気で信じているからです。誰もその日その時がいつであるのか知りません。しかし、私は心底、全身全霊で主が戻って来られるのは、私たちの誰もが想像しうる以上に近いと信じています。

「ああ、先生。ホント毎週毎週それを言っていますよ」分かっています。分かっていますよ。でも、私は今週ももう一度言います。もしも、皆さんと主との関係が正しくなく、主が来られる準備ができていないのなら、私は今日、皆さんにあなたの人生の中で最も重大な永遠のいのちの決断をするようにお願いします。オンラインで観ているかも知れないそのあなた、YouTubeでこの動画を観ておられることは、偶然ではありません。どうか、お願いします。今日が救いの日となりますように。お祈りしましょう。

主よ、感謝します。主よ、あなたの預言の具体性に感謝します。聖書のページに記録されている詳細に感謝します。私たち、後のすべての世代の人々が読み、聞き、そして願わくば重く受け止めるために。私は、ヨハネが黙示録の1章に書いたことに思いを寄せます。その書を読む人、聞く人、そして、さらに重要なことに、それを心に留める人すべてに、いかに祝福があるかについて書かれています。聖書のすべての巻の中で唯一、祝福が約束されている書です。ですから主よ、お願いします。私たちは読みました。私たちは今それを聞いています。今、私たちは、それを心に留めた者とされる人たちの数に入れられたいと思います。主よ、今日、あなたに心を開く必要のある人が、そうすることを祈ります。イエスの御名でお祈りします。アーメン。

---

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7